

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	福岡市立西部療育センター			
○保護者評価実施期間	令和6年12月2日 ～ 令和6年12月26日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	112名	(回答者数)	82名
○従業者評価実施期間	令和6年12月2日 ～ 令和6年12月13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	36名	(回答者数)	36名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの特性に応じた専門性のある支援。	・クラス支援会議を実施し、担任全体で共通理解を持って支援を実施している。 ・Tトレ等職員専門的研修の実施。	・研修や職員間のOJTを通して個々の専門性を高めていく
2	・「児童発達支援計画」を示しながら支援の内容を説明し、保護者とお子さんの発達の状況など課題について共通理解ができています。	・個別面談日を設定し、丁寧な説明を心掛けている。 ・保護者と話し合いながら児童発達支援計画を設定している。	・個別面談時だけでなく、日ごろの連絡帳や送迎時などを利用して保護者とお子さんの状況を細かに確認していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・お子さんの活動スペースが十分に確保されていない。	・子どもの人数に対してスペースが狭い。 ・親子通園の遊戯室は、親子で入室すると特に狭く感じる。	・5階の屋上の活用。 ・玩具の配置や提供の仕方を工夫し、環境調整を実施する。 ・親子通園の遊戯室で過ごす時間の見直し。
2			
3			